



～三重県における防災ボランティア支援のための協働の経緯と現状～

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

議長 山本康史



<p>経緯</p>	<p>1995年 阪神・淡路大震災 災害ボランティアのコーディネーターの必要性が認知</p> <p>1997年 三重県地域防災計画に「災害ボランティア」「ボランティアコーディネーター」の重要性と、「三重県ボランティア情報センター」が記載</p> <p>2000年 前身の三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会が設立 東海豪雨水害に際し三重県、三重県社協、NAD みえと「三重県ボランティア情報センター」を設置して愛知県での県民のボランティア活動を支援 以後、月例で会議を開催するように</p> <p>2001年 防災ボランティアコーディネーター養成講座(県主催・市民企画運営)開始</p> <p>2004年 台風21号水害で県内初災害ボランティアセンター開設 ボラパック実施</p> <p>2006年 三重県ボラ連、日赤三重県支部、三重県社協、三重県と「災害ボランティア活動の支援に関する協定」を締結</p> <p>2008年 「みえ防災市民会議」と改称して法人化</p> <p>2011年 東日本大震災支援でMVSC開設(～2013/12月まで)</p>
<p>MVSC</p>	<p>「みえ災害ボランティア支援センター」 https://mvsc.jp/</p> <p>位置づけ 三重県地域防災計画 / 県外支援時は自主プロジェクト事業</p> <p>目的 三重県内外での大規模災害発生時に災害ボランティア活動が円滑に行われるよう支援する</p> <p>構成 みえ防災市民会議・みえNPOネットワークセンター・三重県ボラ連・JC三重B・(幹事会) 日赤三重県支部・三重県社協・三重県(防災、福祉、NPO担当)</p> <p>協定 災害ボランティア活動の支援に関する協定</p> <p>頻度 平時：月1回の幹事会 / 災害時：センターを開設し不定期開催</p> <p>予算 平時：なし(各団体持ち寄り) / 災害時：県の基金(初動400万円)</p>
<p>協働PT</p>	<p>県域/地域協働プラットフォーム</p> <p>位置づけ 三重県広域受援計画第8章ボランティアの受入れに関する計画</p> <p>目的 災害支援活動を行う団体(災害ボランティア団体、多様な専門性を持つNPO・ボランティア団体、企業、行政等)と情報共有、連絡調整を行うための連携の場(JVOAD等が提唱されている「情報共有会議」)</p> <p>構成 検討中</p> <p>頻度 検討中</p> <p>予算 検討中</p>

活動の成果物紹介 (<https://mvsc.jp/report.html>)

	<p>2004・「みえ発！災害ボラパック」 災害ボランティアバスの企画・運営ノウハウ集</p> 
	<p>2016・「みえ発！災害ボラパック▶安全運行・法令遵守編◀」 旅行業法や道路運送法といった、災害ボランティアバスを企画 する上で関係する法令について学ぶノウハウ集</p> 
	<p>2013・「みえ災害ボランティア支援センター活動報告書 2013」 東日本大震災支援活動（3年目）の報告書・総括</p> 
	<p>2018・三重県広域受援計画（抜粋）第8章 県域/地域協働プラットフォームについての計画</p> 
	<p>2021・新型コロナウイルス感染症に配慮した三重版災害ボラン ティア受援ガイドライン ver1.0/別紙集 ver1.0 災害ボランティア活動における新型コロナウイルス対策</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>本編</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>別紙集</p> </div> </div>